

数字を含む情報の聞き取りテスト開発と実施報告

— 中級から上級レベルを対象に —

平形 裕紀子 酒井 たか子

要 旨

日本語中級レベルから上級レベルの学習者を対象に、数字を中心にした聞き取り能力を測定するためのテストを開発した。テストでは数字そのものの聞き取り問題のほか、聞き取った数字に演算処理を加えて解答を導く問題、数字の表す情報を理解しているかを問う問題を含めた。テストを実施した結果、数字そのものは中級初期からかなり正確に聞き取ることができるものの、桁数が大きくなると中級前期と中期以降で差が見られた。また、数字の表す内容を聞き取る問題では、中級前期の正答率は低く、中級後期以降との差が大きいことがわかった。本調査により、数を含む情報に関して各段階での理解の特徴が明らかになり、今後の教育への示唆が得られた。

【キーワード】 聴解 日本語中上級学習者 テスト 数字の聞き取り能力

Field Test on a Listening Test featuring Numbers for Intermediate and Advanced Level Students

HIRAKATA Yukiko, SAKAI Takako

【Abstract】 We developed a prototype-test to check how well intermediate and advanced Japanese learners can hear numbers. This test includes three different types of listening : (1) questions simply asking to write down the numbers heard, (2) questions make students listen a series of conversations which including numbers and make them calculate using these numbers, and (3) questions with information including numbers. According to the results of this test, we found that students of all levels did well on the first type of questions. However in regard to types 2 and 3, intermediate-low students did worse than advanced level students.

【Keywords】 listening skills, intermediate and advanced level, test, listening skills for numbers

1. 背景と目的

筑波大学留学生センターでは補講コースとして初級レベル (100-400) の他、中級以上の学習者を対象に、中級初期 (500レベル)、中級前期 (600レベル)、中級中期 (700レベル)、中級後期 (800レベル)、さらに上級 (900レベル) の5つのレベルに分けて、「文法」「話す」「聞く」「読む」「書く」「漢字」の技能別コースを開講している。この6技能のコースのうち、「聞く」では、数字の聞き取りを500レベルから900レベルまで共通して継続的に学習する項目として扱っている。

数字を取り上げた理由は「学習者は日常生活及び大学での学習・研究において、数量や順序、時などの情報を日本語で聞いて理解する能力が求められている」(酒井ほか 2010: 66) からである。一例として、日常生活では電話番号の聞き取り、面会等の予約などでの日時の聞き取りなどがあげられる。また、学習・研究では講義中に数字を含む内容をメモするなどの活動も避けられない。単に数字を聞き取りメモするだけでなく、演算処理を行って正しい答えを導き出したり、その数字を使って作表したりする等の作業を行うこともある。

このように一口に数字の聞き取りといっても様々な目的があり、その難易度も様々であるため、上記「聞く」の5つのレベルでは各レベルで取り扱うのに適切であると思われるものを選択し、聞き取り指導を行うことが求められる。

では、実際に学習者は数字の聞き取りに関してどの程度の能力を有しているのか。その点を把握するために、筆者らを含む「聞く」の5つのレベルの担当者は『数字を含む情報の聞き取りテスト』(以下「数字テスト」)の開発に向けたテストの試作を作成した¹。本稿では、まず、数字テスト問題を紹介する。続いてそれを各レベルの日本語学習者に実施し、各レベルの学習者の特徴を捉えるとともにレベル判定に利用するために適切な問題や採点基準について考察を行う。

2. 問題の作成

数字を含む情報をどのように聞き取るかについては、単に数字の聞き取りだけでなく場面、状況によりさまざまな場合がある。数字テストにおいて、対象者を中級から上級までとした上で、次の3つの能力を測定するための問題を作成した。

- (1) 情報の中から数字そのものを正確に聞き取り書き表す。
- (2) 聞き取った数字を使って作表や、演算処理などの操作を加える。
- (3) 情報の中で現れた数字が何を表しているのかを問う。

中級から上級までの広いレベル帯の学習者に対し1つのテストで対応するため、1.で述べた5つのレベルで扱っている数字の聞き取り練習の内容を踏まえ、テストを前半部分 (Part 1) と、後半部分 (Part 2) にわけた。Part 1では中級初期から前期相当の内容の問

題を、Part 2では中級中期から上級にかけて扱われる内容の問題を中心に作成した。

聞かせる音声情報は、会話およびモノログが組み合わされており、自然な速度で録音した。なお、解答用紙に使われている漢字は、初級の漢字と思われるもの以外の字には振り仮名をつけた²。

表 1 に数字テストの問題構成を示す。

表 1 数字テストの問題構成

| | 内容 | 問題番号と問題の詳細 | 問題数 |
|--------|--------------------|-------------------|-----|
| Part 1 | 問題 1 聞き取った数字を書く | 1-1-1 日付と時間 | 3 |
| | | 1-1-2 小数点を含む4桁の数字 | 1 |
| | | 1-1-3 和語の数字(選択問題) | 1 |
| | | 1-1-4 電話番号 | 1 |
| | | 1-1-5 序数詞と値段 | 2 |
| | 問題 2 演算処理を行う | 1-2-1 加算 | 1 |
| | | 1-2-2 除算 | 1 |
| | | 1-2-3 減算 | 1 |
| Part 2 | 問題 1 数字を聞き取り表を完成する | 2-1-1 整数と小数点を含む数字 | 3 |
| | | 2-1-2 小数点を含む数字 | 3 |
| | 問題 2 演算処理を課す | 2-2-1 除算 | 1 |
| | | 2-2-2 除算 | 1 |
| | 問題 3 数字が表す情報を書く | 2-3-1~2-3-3 | 3 |

Part 1では中級初期、前期レベルを想定し、1問10秒程度の短い会話、あるいはモノログで、(1)スキニングタイプの数字を聞き取る問題、(2)聞き取った数字で演算をする問題の2つのタイプからなる。Part 2では中級後期から上級を想定し、問題の長さは1分程度とやや長く、(1)モノログを聞いて、その中に出てくる数字を正確に聞き取るスキニングタイプの問題、(2)聞き取った数字に対して演算処理を課す問題、(3)モノログ中に出てくる数字の示す情報の内容を問う問題からなる。以下、問題例を示しながら詳しく紹介する。

2.1 Part1の問題

2.1.1 数字そのものの聞き取り問題

問題文中に出てくる数字を正確に聞き取れるかを問う問題である。数字の問題として最も一般的であり、基本的なものであろう。このタイプの問題は初級で数字が導入された際に集中して練習を行うことが多い³。本テストの対象者は初級を修了したレベルであるた

め、基本的な数の聞き取りはできると考えられ、下記の内容に重点を置く。

- ・発音の似た数字の聞き分け：100（ひゃく）と800（はっぴゃく）など
- ・4桁以上の大きい数字の聞き取り：1万台から1億台までの数字
- ・数字の多いもの：10個の数字が並ぶ電話番号など
- ・小数点を含む数字の聞き取り：「3.2」など
- ・和語の数字の聞き取り：よつつ、やつつなど
- ・数字の特殊な読み方の聞き取り：10250を「1万ととんで250」と読むもの
- ・助数詞・序数詞：ひとパック、5件など

問題1-1-1は日付と時間が正確に聞き取れるかを問う問題で、「月」「日」「時間」の3つを答える。問題1-2は小数点を含む4桁の数字の聞き取り問題、問題1-1-3は和語の数字、問題1-1-4は電話番号である。このうち問題1-1-3のみ四肢選択、問題1-1-5のうち序数詞を含むものは数字と序数詞を記入させ、残りは数字のみを書き取る問題である。

問題1-1-1

<解答用紙>

テストを受けたい人は申込用紙を（ ）月（ ）日の（ ）時までに
2階の事務室まで持ってきてください。

<スクリプト>（音声提示）

テストを受けたい人は申込用紙を4月20日の12時までに2階の事務室まで持ってきてください。4月20日12時までに2階事務室です。

問題1-1-1は、日付で聞き分けの難しい4月、20日、時間の「12時」の「2」までが正確に聞き取れているかを問う問題となっている。

問題1-1-5

<解答用紙>

まぐろのおさしみが（ ）で（ ）円だそうよ。

<スクリプト>（音声提示）

あのスーパー、今日はお魚が安いだって。マグロのお刺身が2パックで692円、2パックで692円だそうよ。絶対行かなくちゃ。

問題1-1-5は序数詞を含む数字と値段の2つを聞き取る問題である。「2パック」の「パック」の部分までを正確に書くことを求めている。

2.1.2 聞き取った数字に演算処理を課す問題

単に数字を聞き取るだけでなく、聞き取った複数の数字を使っての演算処理が必要な問題である。桁数の小さい数字の加算・減算程度の処理については、初級でも扱われることがある⁴が、「数字テスト」では桁数も多くなり、文中の語彙に中級以上のものを含み、(1)二桁の数字の加算 (2)四桁の数字の除算 (3)五桁の数字の減算の3問からなる。以下に(1)の例を示す。なお、この問題では、音声による質問部分は会話文の最後に提示した。

問題1-2-1

<解答用紙>

() 点

<スクリプト> (音声提示)

A: 今年の学生は成績が悪いですね。

B: そうですね。今年のテストの成績は平均58点で去年より13点も下がったんですよ。

<質問> (音声提示)

去年のテストの平均は何点でしたか。

2.2 Part2の問題

2.2.1 モノログ中にある数字を正確に聞き取り作表を行う問題

解答用紙の表部分に適当な数字を記入させる問題である。スキャニングタイプの問題であるが、扱う数字は、Part 1では整数が主であったのに対して、Part 2では小数点を含む1桁から2桁の数字が大半を占める。また情報の提示される順番が表の記入の順番とは異なるので、正しく内容を理解する必要がある。

問題2-1-1、2-1-2

<解答用紙>

| | 【A】 | 【B】 |
|------|-----|-----|
| 日本 | | |
| アメリカ | | |
| フランス | | |

<指示> (音声提示)
睡眠に関する話を聞いて、以下の表の【A】【B】に適切な言葉を、()には数字を入れて、表を完成しなさい。

<スクリプト> (音声提示)
日本人の3人に1人が「睡眠の質」に不満を持っていることが、ある製薬会社の調査でわかりました。日本・アメリカ・フランスの3か国の30歳以上の男女約7千人を対象に調査を実施したところ、平日の平均睡眠時間は日本が6.5時間で最も短く、アメリカとフランスはいずれも7時間でした。(後略)

2.2.2 聞き取った数字に演算処理を課す問題

Part 1同様に演算を行うものであるが、扱う数字は4桁以上と大きい。乗算・除算を施す必要がある等、Part 1の問題より複雑になっている。

問題2-2-1

<解答用紙>

質問1 北海道は茨城県の約 () 倍

<指示> (音声提示)
日本の都道府県の面積についての話を聞いて、質問に答えなさい。

<質問1> (音声提示)
北海道は茨城県の約何倍ですか。

<スクリプト> (音声提示)
(前略) 北海道の面積は、8万3456.75km²です。(中略) 茨城県はというと、大体真ん中の24番目で、6095.69km²です。一番小さい香川県の約3倍です。

問題2-2-1では「約何倍」かを答える目的のために、数字を全て聞くのではなく概数で捉えるというストラテジーを求めている。

2. 2. 3 数字が表す意味を問う問題

中級から上級レベルでは、単に数字を聞き取るだけでなく、全体の内容理解と併せてその数字が何を表しているのかを理解することが必要であると考え、「数字の表す意味を問う」問題を作成した。数字そのものを記すのではなく、数字が何を意味するのかを記述する問題である。

問題2-3-1～2-3-3

<解答用紙>

問題 スマートフォンに関する話を聞いて、話の中に出てくる次の数字が何を表しているかを説明しなさい。

7割以上：スマートフォンを購入後、()

31.8%：スマートフォンを購入後、()

32.3%：スマートフォンを購入後、()

<指示> (音声提示)

スマートフォンに関する話を聞いて、話の中に出てくる次の数字が何を表しているかを説明しなさい。

<スクリプト> (音声提示)

(前略) 全国1200人の男女20歳から49歳を対象に調査を行ったところ、7割以上の人が、スマートフォン購入後利用時間が増加していることがわかりました。また (後略)

<指示> (音声提示)

話の中に出てくる次の数字を説明しなさい。

3. 数字テストの実施

3. 1 受験対象者

テストは「聞く」の5つのレベルで2012年6月に集団式で実施した。実施対象人数の総数は123名であった。レベルごとの人数は以下のとおりである。

中級初期 (500) 44名

中級前期 (600) 32名

中級中期 (700) 22名

中級後期以上 (800・900) 25名 (内訳 中級後期16名 上級9名)

なお、中級後期と上級は人数が少ないため、本稿の考察では中級後期以上として一括して扱うこととする。

録音は録音ブースにて日本語教師が行い、mp3 (128kbp/198kbp) で保存した。テストの所要時間はPart 1が4分11秒、Part 2が5分である。

3.2 採点方法

採点は、数字のみの問題は、すべての数字が正しくかけていれば1点、一か所でも間違えていれば0点、選択肢問題では正しい選択の場合に1点とした。問題1-1-5の序数詞を含む問題では助数詞の正確な記述まで含め「2パック」の「パック」まで書いて1点とし、数字部分が正しくても「パック」が間違っていれば0点とした。問題2-2-2では正答に幅を持たせ、正答は13倍であるが、概数で計算した場合を考え10~14倍であれば1点を与えた。問題2-3の3問は、解答が文章となるため、前半と後半に分け、各部分で1点とし、1問で2点の配点とした。たとえば正答が「利用時間が増えた人の割合」の場合は「利用時間が増えた」を前半とし、「人の役割」を後半とした。後半では「人」もしくは「役割」のみ書いている場合でも1点とした。Part 1は11点、Part 2は14点、全体合計で25点満点である。

4. 実施結果と考察

4.1 実施結果

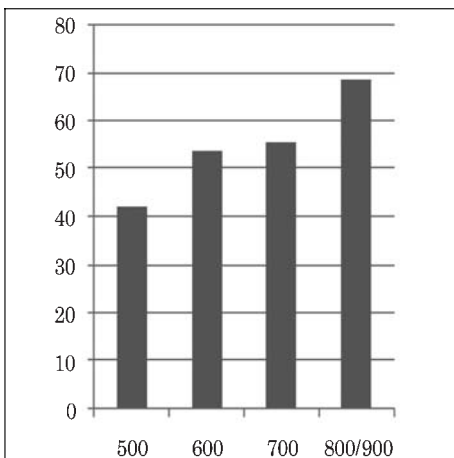


図1 レベル別の平均得点率(合計)

図1にレベル別の合計点の平均得点率を示す。全体の平均得点率は53.1%であり、受験対象者を把握するための問題として適当な難易度であったと言えよう。またレベルが上がるにつれ、平均得点率も上がっていることから、レベル差を測ることができた。さらに詳細を見てみると、図1から、500と600、700と800・900の間の差に比べ600と700の間の差が少ないことがわかる。この点から中級前期と中級中期のレベル差を見るためには更なる問題の検討が必要であることが分かった。

表2に図1で示した平均得点率および標準偏差を数値で表す。Part 1の全受験者の平均得点率は60.8%、Part 2が47%であり、Part 2の方が難しいことが分かる。

表2 レベル別平均得点率と標準偏差

| レベル | Part 1 | Part 2 | Part 1・Part 2 合計得点率 |
|---------|-------------|-------------|------------------------|
| 500 | 50.8 (2.02) | 35.6 (2.25) | 42.3 (3.82) |
| 600 | 61.9 (1.87) | 47.3 (2.49) | 53.8 (3.88) |
| 700 | 62.4 (1.75) | 50.6 (2.54) | 55.8 (3.55) |
| 800・900 | 75.3 (1.88) | 61.2 (2.76) | 68.8 (3.84) |
| 全体 | 60.8 (2.12) | 47.0 (2.84) | 53.1 (4.46) |

() 内は標準偏差

さらに詳しく、問題別の正答率を検討する(資料1を参照)。Part1において、数字そのものを聞き取る問題1-1の質問群中で、日時と時間を聞き取る問題や和語の数字を聞き取る問題ではどのレベルでも79%から90%台で大きな差はない。しかし聞き取る数字の桁数が大きいものや小数点が含まれるもの(10万5600や4095.22など)・電話番号(054-628-1952など)のように、聞き取る数字の数が多くなると、500レベルでは正答率が30%台から40%程度と低いのに対し600レベル以上では50%以上となっている。特に電話番号の聞き取りは500レベルの正答率44%に対し、600レベル以上では70%以上と差が大きい。

演算処理を課す問題1-2では桁数の違いや、比較的単純な加減の計算か除算かで、レベルごとに大きな違いが出ている。500レベルでは正答率は問題1-2-1の2桁の加算でも20%であり、問題1-2-3の6桁の減算では6%と、ほとんど聞けていない。600レベルでも問題1-2-1は40%の正答率であるが、除算を行う問題1-2-2と桁数の多い数字を扱う問題1-2-3ではそれぞれ28%と12%と低い。700レベルは問題1-2-1と問題1-2-2が40%台になっているが、問題1-2-3は4%と最も低い正答率となっている。中級後期以上は問題1-2-1が64%、問題1-2-2が56%、問題2-3が48%である。

Part2では、問題2-1-1の1桁の数字を聞き取る問題では各レベルで正答率が高かったのに対し、問題2-1-2の2桁の数に小数点が含まれるものを聞き取る問題では500レベルの正答率が4%とほとんど聞き取れていないことがわかる。

問題2-2-1、2-2-2と問題2-3-1から2-3-3の正答率は問題2-1-1、2-1-1のものとは比べるとどのレベルでも大きく下がっている。また問題2-2-1で500レベルの方が600レベルより正答率が高く、問題2-2-2では600レベルの正答率が最も高いなど、さらなる検討が必要な問題となっている。

問題2-3の三つの問題は全レベルで特に正答率が低い問題であったが、特に顕著な差が出たのは解答の後半部分の「人の割合」であった。この部分の正解者は500レベルでは1名のみ、600レベルでも正答率は最高でも9.1%であった。また、「人の割合」の両方を正しく

書けた学生は700レベルまで0人であったが、中級後期以降ではこの部分で1点となった解答はすべて「人の割合」まで書いており、表面的な点数以上に差が開いていることがわかる。

4.2 考察

以上の結果から、数字テストは、筑波大学留学生センターのプレースメントテストや前学期の成績によって進級してきた各レベルを反映した結果となっている。しかし、600レベルと700レベルでの平均得点率の差が他レベル間と比べて少ないことに関しては、テスト問題によるのか学習者の特性によるのか、さらなる検討が必要である。

問題の種別の観点からみると、数字のみの聞き取り問題に関しては、500レベルでも聞く数字の数が少なければ、正確に聞き取ることはできる。一方、上級レベルでも数字の聞き分けが難しい問題では誤答が多くなり、比較的レベル間の差が小さい。しかし電話番号のように数字が10個近くあるものや、桁数の多い数の聞き取りは、低いレベルではできていない。また、演算処理を行う場合でも、桁数が大きくなると比較的簡単な減算の処理であっても正答率が下がっている。これは単に数字が記憶できるというよりは、次から次へと聞こえてくる数字を理解した上で、効率よくメモを取るというストラテジーが影響していると考えられる。数字の操作を必要とする問題や数字が表す情報を聞き取る問題では中級前期と後期に差が大きく現れた。低いレベルでは、数字を聞き取ることだけで精一杯で、内容を理解するだけの余裕がないためであろう。さらに「利用時間が減少した人の割合」のように数字の表わす情報を答える場合「人の割合」のような部分まで記述するような力も中級中期までではまだ育っていないと考えられる。

このことから、今回の問題は中級の前期と後期との能力差を見るために有効な問題であり、さらに教育内容に含める必要性があることが示唆される。また、数字そのものを聞き取る問題でも、桁数の大きいものや間に0を含む数字、序数詞を含む問題などはレベル判定を行う上で有効であると思われる。

5. まとめと今後の課題

今回のテストでは単に聞き取った数字を書き取る問題だけでなく、数字の操作や数字が表す情報を聞き取るといった数字の周辺まで含めて問題を作成した。採点基準に関しては、今回は記述式テストであったが、今後のコンピュータでの実施を視野に入れすべて1か0で採点ができるようにした。この採点法が日本語力を的確に反映しているかについては詳細な検討が必要である。

今回、特に上級レベルの対象人数が少なかったため、十分な検証を行うことができなかった。レベル判定や能力測定のための適切なテスト作成のために、今後も引き続いてこのよ

うな「数字テスト」を実施し、より正確な検証を行うための十分なデータを確保したい。

上記に挙げたような問題点を検討しつつ、より多くの問題を作成し、テストのバリエーションを増やしていくことも今後の課題である。

注

1. 前半のPart 1は中級初期から前期担当者である田中、石田、平形が、後半のPart 2は中級中期から上級の担当者である関、柳田、酒井が中心となり問題を作成した。
2. 『Basic Kanji Book』 Vol.1、Vol.2で扱っている500字以外の漢字が相当する。
3. このタイプの練習の例としては、初級であれば、『Situational Functional Japanese』 vol. 1の第2課、『わくわく文法リスニング』第4課等、『24 Tasks for Basic Modern Japanese』 vol.1第2課、第5課等様々なものがある。中級から上級レベルの例としては『インタビューで学ぶ日本語』の複数の課で行われている。
4. 例として『Situational Functional Japanese』 vol.1の第3課では聞き取った数字に加算処理をする問題がある。

研究協力者

本プロジェクトは、「聞く」を担当している田中孝始（J500）石田麻実（J600）、関裕子（J700）、柳田しのぶ（J800）と共同で進めているものである。問題作成、採点基準もプロジェクトとして検討を行った。

参考文献

- 筑波ランゲージグループ（1991）『Situational Functional Japanese』 vol.1 凡人社
- 小林典子・フォード丹羽順子・高橋純子・藤本泉・三宅和子（1995）『わくわく文法リスニング99』 凡人社
- Fujiko Motohashi・Satoko Hayashi・Tsuda Center for Japanese Language Teaching（1989）『24 Tasks for Basic Modern Japanese にほんごきいてはなして』 ジャパンタイムズ社
- 酒井たか子・関裕子・二瓶知子（2010）「中上級聴解レベル分けのためのテストの試作と実施報告」『筑波大学留学生センター 日本語教育論集』 26号 筑波大学留学生センター：59-76
- 堀歌子・三井豊子・森松映子（1991）『中・上級用聞き取り教材 インタビューで学ぶ日本語』 凡人社

資料 各問題の正答率

| Part 1 | | | | | | | | | | | |
|---------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 1-1-1 | | | 1-1-2 | 1-1-3 | 1-1-4 | 1-1-5 | | 1-2-1 | 1-2-2 | 1-2-3 |
| レベル | 月 | 日 | 時間 | 4桁数 | 和語 | 電話番号 | 序数詞 | 値段 | 加算 | 除算 | 減算 |
| 500 | 93.2 | 81.8 | 86.4 | 36.4 | 79.5 | 47.7 | 43.2 | 54.5 | 22.7 | 20.5 | 6.82 |
| 600 | 93.8 | 75.0 | 93.8 | 59.4 | 84.4 | 71.9 | 40.6 | 81.3 | 40.6 | 28.1 | 12.5 |
| 700 | 81.8 | 81.8 | 95.5 | 54.5 | 95.5 | 77.3 | 45.5 | 68.2 | 40.9 | 40.9 | 4.55 |
| 800・900 | 92.0 | 96.0 | 100.0 | 56.0 | 92.0 | 80.0 | 56.0 | 88.0 | 64.0 | 56.0 | 48.0 |
| 全体 | 91.1 | 82.9 | 92.7 | 49.6 | 86.2 | 65.9 | 45.5 | 70.7 | 39.0 | 33.3 | 16.3 |

| Part 2 | | | | | | |
|---------|------------|---------|---------|------------|---------|---------|
| | 2-1-1 (作表) | | | 2-1-2 (作表) | | |
| レベル | 整数 | 小数点を含む数 | 小数点を含む数 | 小数点を含む数 | 小数点を含む数 | 小数点を含む数 |
| 500 | 68.2 | 79.6 | 79.6 | 90.9 | 54.6 | 4.5 |
| 600 | 84.4 | 90.6 | 90.6 | 84.4 | 71.9 | 37.5 |
| 700 | 95.5 | 95.5 | 95.5 | 81.8 | 59.1 | 18.2 |
| 800・900 | 96.0 | 100.0 | 100.0 | 84.0 | 68.0 | 40.0 |
| 全体 | 82.9 | 89.4 | 89.4 | 86.2 | 62.6 | 22.8 |

| Part 2 | | | | | | | | |
|---------|------------|------|------------|------|------------|------|------------|------|
| | 2-2-2 (演算) | | 2-3-1 (情報) | | 2-3-2 (情報) | | 2-3-3 (情報) | |
| レベル | 除算 | 除算 | 前半 | 後半 | 前半 | 後半 | 前半 | 後半 |
| 500 | 36.4 | 38.6 | 25.0 | 0.0 | 11.4 | 4.5 | 0.0 | 4.5 |
| 600 | 21.9 | 53.1 | 62.5 | 3.1 | 46.9 | 9.4 | 3.1 | 3.1 |
| 700 | 36.4 | 50.0 | 81.8 | 22.7 | 31.8 | 18.2 | 4.5 | 18.2 |
| 800・900 | 52.0 | 64.0 | 96.0 | 48.0 | 48.0 | 48.0 | 12.0 | 36.0 |
| 全体 | 35.8 | 49.6 | 59.4 | 14.6 | 31.7 | 17.1 | 4.1 | 13.0 |